



第74回 奈良県高等学校陸上競技対校選手権大会

競技注意事項

本競技会は、無観客での実施とする。

※ 競技会入場者名簿を必ず作成し、提出すること

1 競技規則について

本大会は、2021年 公益財団法人 日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習について

(1) 練習の時間帯は、下記の通り。

	本競技場	補助競技場
6月4日(金)	8:00～ 8:50	8:00～16:30
5日(土)	8:00～ 9:00	8:00～16:30
6日(日)	8:00～ 9:00	8:00～15:00

※ 本競技場では、競技会運営の準備も並行して行うので、安全に十分注意すること

(2) 本競技場での練習は、トラック種目と跳躍種目のみとする。また、用具については、補助競技場を含め競技場備え付けの物を使用すること。ゴムチューブ等を使用してのスピード練習は全面禁止とする。

(3) トラックのレーンの使用については、以下の通り。

1～2レーン：中長距離・競歩 3～6レーン：短距離(リレー練習含む) 8・9レーン：ハードル

(4) 本競技場のフィールド内芝生は、全面立入禁止とする。

(5) 投てき種目の練習は、公式練習以外、競技場内外を問わず一切禁止する。(メディシンボール練習等も含む)

(6) 練習会場では、事前に注意事項を確認し遵守するとともに、必ず競技役員の指示に従うこと。

3 招集について

(1) 招集所は、メインスタンド2F裏・通路北側に設ける。

(2) 招集開始時刻・完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載されている。

(3) 携帯電話・スマートフォン・タブレット等の電子通信機器は、招集所内に持ち込まないこと。

(4) 招集の手順

① 競技者は、招集開始時刻までに招集所で、自分のビブスナンバーに○を付ける。その際、アスリートビブス及びシューズの点検を受けること。トラック種目出場者で、腰ナンバー標識が配布された場合は、右腰のやや後方につけること。

② 招集所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。

③ 代理人による招集の点呼は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、最初の種目の招集開始時刻までに、所定の「多種目同時出場届」を招集所へ提出すること。(用紙は招集所に準備) その場合に限り、招集時刻の点呼に代理人を認める。

(5) やむなく欠場する場合は、招集開始時刻までに「欠場届」を招集所へ提出すること。用紙は、プログラム巻末の所定の用紙を使用すること。

(6) リレー種目について

① 「オーダー用紙」は、各ラウンドともその種目の第1組目の招集完了時刻の1時間前までに招集所へ提出すること。プログラム巻末の所定の用紙に、必要事項を記入のうえ提出し、「控え」を受けとること。「オーダー用紙」の提出がない場合は、当該種目を欠場するものとみなし、処理する。

② 出場メンバー全員が点呼を受けること。ただし、他種目に出場している場合は、上記(4)③に準ずる。

※ ユニフォームは同型・同色を原則とする

(7) 混成競技について

① 第1日及び第2日の最初の種目については、招集所にて指定された時刻に行う。2種目目以降は、当該競技役員の指示に従うこと。(トラック種目は10分前、フィールド種目は30分前までには現地に集合すること)

② 他種目と重なっている場合は、あらかじめ混成競技係にその旨を告げ、競技者係に「多種目同時出場届」を提出しておけば、直接現地への移動を認める。(トラック種目優先)

4 競技進行について

(1) 番組編成及びラウンドの通過について

① トラック競技のレーン順・フィールド競技の試技順は、プログラム記載左側に示された番号順とする。なお、トラック競技の準決勝以降の組み合わせは、すべて番組編成員が行い、招集所及びメインスタンド外掲示板で発表する。



第74回 奈良県高等学校陸上競技対校選手権大会

- ② トラック競技における次のラウンドへの進出者について
- (P) (+α)を決めるとき、その最下位で同タイム(1/100単位)が出た場合、写真を拡大して1/1000秒単位で優劣の判定をする。
- ・レーンに余裕がある場合 同タイム(1/1000秒単位)の選手の出場を認める。
 - ・レーンに余裕がない場合 本人または代理人により抽選する。
- (イ) 同着により着取りによる進出者が増えた場合、(+α)での進出者数を減らす。
- (ウ) オープンレーンを使用する種目(800m含む)は、同タイム(1/1000秒単位)の競技者は、全員次のラウンドに進める。

(2) 競技について

- ① 当該種目出場競技者以外は、競技場内に立ち入ることはできない。
- ② トラック競技で使用できる靴底の厚さは、800m未満の種目は 20mm 以下、800m以上の種目は 25mm 以下とする。

(注)競技用シューズに関するルールについて

本競技会のフィールド競技においては、競技規則 TR5.5 を適用しない。よって、記録は国内でのみ通用するものとなり、WA(世界陸連)への申請も行わないものとする。しかし国際競技会への参加資格となり得る記録が出た場合のために、招集段階で全フィールド競技者および混成競技者は『競技用シューズ申告書』を提出する。国際競技会への参加資格となり得る記録が出た際には、事前提出の『競技用シューズ申告書』で規定違反のある競技者の記録には「TR5.5」と付記し、WAに全競技者の記録申請を行う。

- ③ 競技用靴のスパイクの長さは、9mm 以下とする。ただし、走高跳・やり投は 12mm 以下とする。いずれの場合も本数は、11本 以内とする
- ④ アスリートビブスは、配布された大きさのままで、ユニフォームの胸部と背部つけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、背部または胸部だけでもよい。
- ⑤ 不正スタートについては、混成競技を除いて、一度の不正スタートでもその責任を有する競技者は失格とする。混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者はすべて失格とする。(競技規則162条6、第200条8、国内ルールを適用)
- ⑥ 男子5000mは、タイムレース決勝とする。ただし、スタート後 20分 で競技終了とする。
- ⑦ 男女5000m Wはスタート後 35分 で競技終了とする。
- ⑧ 男子5000m・女子3000m・男女5000Wは、危険防止のためグループスタートで行う。
- ⑨ トラック競技の短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
- ⑩ 走幅跳・三段跳ともに、1組はAピット(スタンド側)、2組はBピット(トラック側)で行う。ただし、決勝はAピット(スタンド側)で行う。
- ⑪ 三段跳の踏切板は、男子予選 11m00・決勝 12m00、女子決勝 9m00 に設置する。
- ⑫ 予選通過記録は、下記の通り。

男子走幅跳	6m35	男子三段跳	12m80	女子走幅跳	4m75
男子砲丸投	12m00	男子円盤投	32m00	男子やり投	46m00

- ⑬ フィールド競技では、下記の試技時間は通常の場合越えてはならない。試技時間を越えれば、無効試技として記録する。試技時間残り 15秒 から黄旗をあげて競技者に知らせる。

単独競技	通常	2～3人	1人	連続試技
走高跳	1分	1分30秒	3分	2分
棒高跳	1分	2分	5分	3分
その他	1分	1分	—	2分
混成競技	通常	2～3人	1人または連続試技	
走高跳	1分	1分30秒	2分	
棒高跳	1分	2分	3分	
その他	1分	1分	2分	

- (4) フィールド種目の予選では、下記の記録測定ラインを設ける。

	走幅跳	砲丸投	円盤投	やり投
男子	5m60	8m00	23m00	35m00
女子	4m15	—	—	—



第74回 奈良県高等学校陸上競技対校選手権大会

(5) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記の通り。

走高跳	男子	決(練習)1m60・1m80	1m65－1m70－1m75－1m79－1m82 以後3cmずつ
	女子	決(練習)1m35・1m50	1m30－1m35－1m40－1m44－1m47 以後3cmずつ
走高跳 (混成競技)	男子	(練習)任意の高さ	1m50－1m53 以後3cmずつ
	女子	(練習)任意の高さ	1m20－1m23 以後3cmずつ
棒高跳	男子	決(練習)3m00・4m00 4m50	3m10－3m30－3m50－3m70 以後10cmずつ 4m50－4m60 以後5cmずつ
	女子	決(練習)2m60・3m40	2m70－2m90－3m00 以後10cmずつ 3m20－3m30 以後5cmずつ

5 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。
- (2) やりは競技場備え付けのものを準備するが、検査を受けて自己の物を使用してもよい。その場合、出場競技者全員で共有できるものとする。検査時刻は、競技開始時刻の 80分前 から 60分前 までとし、南用器具庫(フイニッシュ地点横)で行う。

6 開会式及び各種目表彰、表彰式について

- (1) 開会式は各校 10名 の参加とし、縦一列に集合すること。ただし、雨天時は正面玄関スタンド下で、各校代表 1名 の参加により行う。
- (2) 各種目 6位 までの入賞者を表彰する。結果発表のアナウンス後直ちに、受賞者席(メインスタンド下中央ロビー)に集合すること。
- (3) 表彰式では以下の表彰を行うので、当該校(者)は必ず参加すること。
 - ① 男女各総合、男女各トラック、男女各フィールドの部で6位までに入賞した学校
 - ② 男女の最優秀選手
 - ③ 男女各総合優勝校の監督

7 一般的注意事項

- (1) 競技場の開門は、3日間とも8時00分とする。
- (2) 競技者の入退場は競技場の各ゲートから行き、みだりに競技場内(本部席前)の横断や通過はしないこと。
- (3) 応援はスタンドで行い、立入り禁止区域には入らないこと。メインスタンドでの集団応援は禁止する。
- (4) 更衣室の使用は、更衣のみとし、最大使用限度は 10人 とする。私語はせず、使用後は速やかに退室すること。また、一切の私物を置いてはならない。その際、正面玄関からの出入りは禁止する。
- (5) 競技中に起こったケガについては、本部の医務室で応急処置のみ行う。
- (6) スタンド等使用した場所は、各校で責任を持って清掃し、ゴミ等は各校で持ち帰ること。駅・競技場周辺のゴミ箱等には絶対放置しないこと。
- (7) 貴重品、荷物等は各自・各校で管理し、盗難等に十分注意すること。
- (8) 個人情報の取り扱いに関して
 - ① 本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用しない。
 - ② 参加申込書の提出により、上記①の取り扱いに承諾を得たものと見なし氏名・学校名・学年・記録を紹介し掲示板に掲載する。また、本大会が認めた報道機関にも公表する。入賞者は報道機関の取材を受けることがある。
 - ③ 本部が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞・大会報告書・ホームページ等で公表されることがある。

重要 新型コロナウイルス感染拡大防止に関するお願い

- (1) 会場内では、主催者から配られた胸章(リボン)を、見えるところに必ず付けてください。
- (2) 会場には、アルコール消毒液の準備はしますが、「マスク着用・うがい・手洗い」などの感染防止対策を徹底してください。
- (3) 密集・密閉・密接空間をつくらないようにしてください。(三密の回避)
- (4) 近距離での会話や発声を避け、応援など大きな声を出すことは控えてください。
- (5) 長時間会場に留まることのないようタイムテーブルを確認の上、競技会に参加してください。
- (6) 投てき競技のすべり止め等は、各自で準備してください。

以上のお願いに同意できない場合は、今回の競技会への参加はご遠慮ください。